

【総領事館からのお知らせ：バリ州での鳥インフルエンザ発生】

平成24年2月23日(総12第06号)  
在デンパサール日本国総領事館

1. バリ州バドゥン県クロボカンに在住する12歳の男児が鳥インフルエンザに感染し、死亡するが発生しました。

当初チフスの疑いで入院していましたが、インフルエンザ症状が見られたためサンラ病院に移送され、21日に亡くなりました。患者の父親は闘鶏を飼育していた模様です。

2. 過去にもご案内していますが、インドネシアは日本と比較して鶏が身近に存在する環境であることから、極力鶏を含む鳥類には近づかないこと、調理の際は十分に加熱する、手洗い等の感染症対策を励行してください。

また、インフルエンザを疑う症状が出た場合には速やかに医療機関での診察を受けることをお勧めいたします。

3. 鳥インフルエンザに関しては、以下の情報提供も併せて御参照ください。

(1) 外務省海外安全ホームページ「感染症関連情報」([http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian\\_search/index.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html))

(2) 在インドネシア日本国大使館ホームページ「鳥及び新型インフルエンザ情報」予防や症状についての具体的な説明が掲載されています。(<http://www.id.emb-japan.go.jp/flu.html>)

以上